

# 杉並区公共施設景観形成指針に対する措置状況説明書

## 5-2 公園・緑地

当該行為における景観形成に関する考え方

記載欄

### 5-2-(1) 接道部

#### ① 植栽

接道部は、見通しのよい植栽とする。

記載欄

- ・ 低木植栽又は低木と高木を組み合わせる。

記載欄

- ・ 歩行者や公園利用者の視線を遮らない。

記載欄

- ・ 明るく開放的な空間にする。

記載欄

#### ② デザイン

公園・緑地へと自然に導く工夫をする。

記載欄

- ・ 公園・緑地と周辺の空間との状況に応じ、分ける機能、あるいは一体化する機能を使い分けたデザインとする。

記載欄

- ・ 道路の歩道と園路の舗装材は調和させ、ゆとりある歩行空間をつくる。

記載欄

- ・ 誰もが公園・緑地の敷地内にスムーズに入れるように、ユニバーサルデザインとする。

記載欄

- ・ 柵類は、色や形態で目立たなくする。

記載欄

・車止めは、公園利用者が安全に出入りできるように目立たせる。

記載欄

### ③素材

舗装材は、安全性や歩行性に配慮した素材を選択する。

記載欄

### ④歩行者空間

ゆとりある歩行者空間を確保する。

記載欄

・交通量が多く、歩道の無い道路では、誰もが安全に気持ちよく通れる歩行者空間を確保する。

記載欄

## 5-2-(2)緑化とオープンスペース

### ①既存樹木の活用

既存の高木や樹林を残し、地域の人々に愛着を持たれる公園とする。

記載欄

### ②季節感の演出

・花や実のなる樹木を植栽する。

記載欄

・草花を植えて彩りを添える。

記載欄

### ③区民の協力

・一年を通じて区民が草花を育て、楽しむことのできる公園とする。

記載欄

### ④個性ある公園づくり

・シンボルツリーを守り育てる。

記載欄

・季節を代表する花木を植え、地域の名所をつくる。

記載欄

### 5-2-(3)公園施設

#### ① 素材

・耐久性のある素材を選択する。

記載欄

・安全で、心地よく、快適に使える素材とする。

記載欄

#### ②デザイン・色彩

・みどりと調和のとれたものにする。

記載欄

・公園の特徴が出せるように選定する。

記載欄

#### 上記以外で特に景観に配慮した事項

記載欄